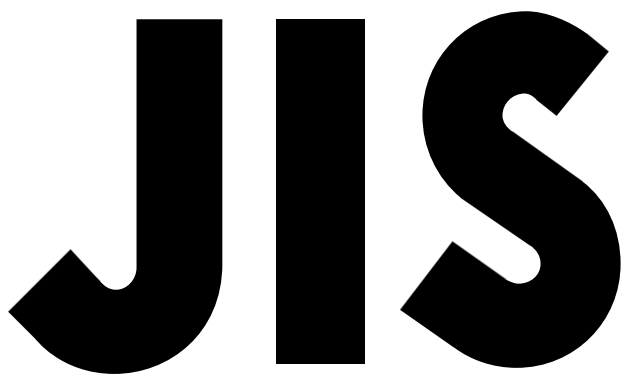




ベリリウム銅，りん青銅及び洋白の棒及び線

JIS H 3270 : 2025

(JCBA/JSA)

令和 7 年 3 月 21 日 改正

日本産業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本産業標準調査会標準第一部会 金属・無機材料技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	片 山 英 樹	国立研究開発法人物質・材料研究機構
(委員)	伊 藤 真 二	一般社団法人日本建設業連合会（株式会社鴻池組）
	岩 崎 央	ステンレス協会（日鉄ステンレス株式会社）
	上 原 実	一般社団法人日本産業機械工業会
	河 村 能 人	一般社団法人日本マグネシウム協会（国立大学法人熊本大学）
	倉 本 繁	国立大学法人茨城大学（一般社団法人日本アルミニウム協会）
	栗 田 智 久	一般社団法人日本電機工業会
	越 川 哲 哉	一般社団法人日本鉄鋼連盟
	種物谷 宣 高	高圧ガス保安協会
	下 鍋 達 也	公益社団法人自動車技術会（ダイハツ株式会社）
	須 山 章 子	一般社団法人日本ファインセラミックス協会（東芝エネルギーシステムズ株式会社）
	瀧 田 敦 子	秋田県産業技術センター
	中 村 照 美	一般社団法人日本溶接協会
	廣 本 祥 子	国立研究開発法人物質・材料研究機構
	宮 沢 郁 子	一般財団法人建材試験センター

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 52.5.1 改正：令和 7.3.21

官 報 掲 載 日：令和 7.3.21

原 案 作 成 者：一般社団法人日本伸銅協会

（〒110-0005 東京都台東区上野 1-10-10 うさぎやビル TEL 03-6803-0587）

一般財団法人日本規格協会

（〒108-0073 東京都港区三田 3-11-28 三田 Avanti TEL 050-1742-6017）

審 議 部 会：日本産業標準調査会 標準第一部会（部会長 田辺 新一）

審議専門委員会：金属・無機材料技術専門委員会（委員長 片山 英樹）

この規格についての意見又は質問は，上記原案作成者又は経済産業省イノベーション・環境局 国際標準課（〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1）にご連絡ください。

なお，日本産業規格は，産業標準化法の規定によって，少なくとも 5 年を経過する日までに日本産業標準調査会の審議に付され，速やかに，確認，改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	2
4 名称, 種類, 等級及び種類の記号	2
5 品質	3
5.1 外観	3
5.2 化学成分	3
5.3 機械的性質	4
6 寸法及びその許容差並びに形状の許容値	8
6.1 寸法	8
6.2 寸法の許容差	8
6.3 棒の曲がりの許容値	9
6.4 角半径	10
7 試験	10
7.1 分析試験	10
7.2 引張試験	11
7.3 硬さ試験	11
7.4 時効硬化処理	11
8 検査	12
9 表示	12
10 報告	12
附属書 A (参考) 棒及び線の代表寸法	13
解 説	15

まえがき

この規格は、産業標準化法第 16 条において準用する同法第 12 条第 1 項の規定に基づき、一般社団法人日本伸銅協会（JCBA）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から、産業標準原案を添えて日本産業規格を改正すべきとの申出があり、日本産業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本産業規格である。これによって、**JIS H 3270:2018** は改正され、この規格に置き換えられた。

なお、令和 8 年 3 月 20 日までの間は、産業標準化法第 30 条第 1 項等の関係条項の規定に基づく JIS マーク表示認証において、**JIS H 3270:2018** を適用してもよい。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格に従うことは、次の者の有する特許権等の使用に該当するおそれがあるので、留意する。

会社名	所在地	特許番号	制定年月 (西暦)	名称
株式会社藤井製作所	東京都江戸川区 本一色 1 丁目 14 番 6 号	特許第 6742278 号	2020 年 7 月 30 日	無鉛快削りん青銅棒線材及び 無鉛快削りん青銅棒線材の製 造方法
株式会社栗本鐵工所	大阪府大阪市西区 北堀江 1 丁目 12 番 19 号			

上記の特許権等の権利者は、非差別的かつ合理的な条件でいかなる者に対しても当該特許権等の実施の許諾等をする意思のあることを表明している。ただし、この規格に関連する他の特許権等の権利者に対しては、同様の条件でその実施が許諾されることを条件としている。

この規格に従うことが、必ずしも、特許権の無償公開を意味するものではないことに注意する必要がある。

この規格の一部が、上記に示す以外の特許権等に抵触する可能性がある。経済産業大臣及び日本産業標準調査会は、このような特許権等に関わる確認について、責任はもたない。

なお、ここで“特許権等”とは、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権をいう。

ベリリウム銅，りん青銅及び洋白の棒及び線

Copper beryllium alloy, phosphor bronze and
nickel silver rods, bars and wires

1 適用範囲

この規格は，展伸加工したベリリウム銅，りん青銅及び洋白の断面が丸形・正六角形・長方形の棒（以下，棒という。）及び断面が丸形・正六角形・正方形・長方形の線（以下，線という。）について規定する。

2 引用規格

次に掲げる引用規格は，この規格に引用されることによって，その一部又は全部がこの規格の要求事項を構成している。これらの引用規格は，その最新版（追補を含む。）を適用する。

- JIS H 0321** 非鉄金属材料の検査通則
- JIS H 0500** 伸銅品用語
- JIS H 1051** 銅及び銅合金中の銅定量方法
- JIS H 1052** 銅及び銅合金中のすず定量方法
- JIS H 1053** 銅及び銅合金中の鉛定量方法
- JIS H 1054** 銅及び銅合金中の鉄定量方法
- JIS H 1055** 銅及び銅合金中のマンガン定量方法
- JIS H 1056** 銅及び銅合金中のニッケル定量方法
- JIS H 1058** 銅及び銅合金中のりん定量方法
- JIS H 1060** 銅及び銅合金中のコバルト定量方法
- JIS H 1062** 銅及び銅合金中の亜鉛定量方法
- JIS H 1063** 銅合金中のベリリウム定量方法
- JIS H 1070** 銅及び銅合金中の硫黄定量方法
- JIS H 1292** 銅合金の蛍光 X 線分析方法
- JIS Z 2241** 金属材料引張試験方法
- JIS Z 2244-1** ビッカース硬さ試験－第 1 部：試験方法
- JIS Z 2244-2** ビッカース硬さ試験－第 2 部：硬さ値表
- JIS Z 2245** ロックウェル硬さ試験－試験方法